

# 事故発生状況報告書(動物等の場合)

記載例

当事者	甲 (加害者)	氏 名 加害 花子			甲と乙の 関 係	知人(近隣住人)
	乙 (被害者)	氏 名 国保 一郎				
動物	種 類	犬	名 称	ミックス犬 (雑種)	年 齢	8～10歳
	性 別	雄・雌	体 格	小型犬(柴犬よりやや大きい)	特 徴	飼主には従順だが他人には攻撃的な面を持つ
	犬の場合	登 録 番 号	年 度 第 号		予防注射	年 度 第 号
		犬による危害の防止に関する条例 第5条に基づく届け出の有無			有・無	有りの場合、届出書の写しを添付してください 無しの場合、届出の指導・助言をしてください
管理 状況 の	<p>&lt;自宅の内外、犬小屋の場所、繋いでいた状況、リードの長さ、リードを繋いで散歩中、放し飼いなど具体的に記入してください&gt;</p> <p>甲は自宅敷地内玄関脇の支柱に長さ1.2mのリードで飼い犬を繋いでいた。犬は道路側に前足や頭を出せる状態。</p> <p>咬傷犬の所有者及び被咬傷者は、動物愛護センター所長または動物愛護センター支所長に届け出ることにしています。</p>					
説 事 明 故 ・ 内 経 容 緯 の	発生日時	令和 元年 6 月 10 日 午前・午後) 10 時 10 分 ころ		発生場所	福島県〇〇市〇〇3-10	
	原 因 及 び 状 況	<p>&lt;「犬に触ろうとした」「犬同士の喧嘩を止めようとした」「散歩中の犬が制御できなくなった」「リードが長すぎた」など咬みつき事故が起きた原因等を具体的に記入してください。&gt;</p> <p>甲は事故当日、室内で飼っている飼い犬を散歩に連れて行くため一時的に玄関前の支柱に繋ぎ、家の中で出掛ける準備をしていた。甲が目を見失っている間に近所の人が犬を連れて通りかかり、犬同士が吠えあっていた。そこへ散歩中の乙が通りかかり、甲の飼い犬を宥めようとして自ら右手を出し、触ろうとしたら咬まれた。甲の飼い犬は人や別の犬が通ると吠える習性があり、事故当時も吠えるなどして興奮していた。乙が甲の犬を触ったことは今まで一度も無く、この日が初めてであった。</p>				
緯 の	危 害 の 部 位 程 度	右手の薬指と小指の関節の咬創(全治2週間程度)		過去の加害の有無	有・無 (有りの場合回数・頻度等)	
事 故 現 場 状 況 図	<p>&lt;自宅あるいは敷地内、散歩道、イベント会場など事故現場における動物と被害者との状況を図示してください。&gt;</p>					
<p>上記内容に間違いありません。</p> <p>令和 〇〇年 〇月 〇日 届出者(被保険者): 国保 一郎 印</p>						

(注)本書面に代わる同等の内容の書面がある場合には、その書面の提出をもって本書面の代わりとすることも可能です。ただし、その場合には、当該書面の余白部分に「上記内容に間違いありません」と記入した上、届出者に署名または記名押印をして貰ってください。